

船舶事故調査報告書

令和5年7月5日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和4年4月25日 08時56分ごろ
発生場所	茨城県ひたちなか市常陸那珂港北ふ頭岸壁Fバース 東海日本原子力発電北防波堤灯台から真方位185° 2.0海里付近 (概位 北緯36° 25.9′ 東経140° 36.7′)
事故の概要	貨物船 <sup>ヴィラッキー</sup> V LUCKYは、常陸那珂港において着岸作業中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和4年6月1日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 V LUCKY（パナマ共和国籍）、2,439トン
船舶番号、船舶所有者等	8582212（IMO番号）、NINGBO LISHENG SHIPPING LIMITED
乗組員等に関する情報	船長（インドネシア共和国籍）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	本船 右舷錨が脱落 岸壁 車止めに破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 ほぼ高潮時
事故の経過	<p>本船は、船長ほか10人が乗り組み、鋼材約3,588tを積み、ロシア連邦ウラジオストク港を出港し、令和4年4月24日正午ごろ常陸那珂港港外に到着して漂泊したのち、翌25日早朝に航行を再開して同港港内に向かった。</p> <p>本船は、06時30分ごろ常陸那珂港第2号灯浮標を通過し、07時30分ごろ‘ほぼ東西に延びる北ふ頭岸壁’（以下単に「北ふ頭岸壁」という。）のFバースに入船右舷着けする予定であったものの到着が遅れ、08時18分ごろ同港第2号灯浮標を通過し、同港東防波堤の西側を約8ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で北進した。</p> <p>本船は、08時31分ごろから減速を始め、08時40分ごろ北ふ頭岸壁の東端付近で約7knの速力となったところに左転し、北ふ頭岸壁の約200m南方を、北ふ頭岸壁に沿って減速を続けながら西進した。</p> <p>船長は、08時49分ごろ、Fバースの約600m手前において、約4knの速力でFバースに向けて少しずつ右転を始め、08時53分ごろ、Fバースの約200m手前において、約3knの速力で大きく右転したのち、主機を後進運転としたが行きあしが止まらず、本船の右</p>

	<p>舷錨がFバースに衝突した。</p>
分析	<p>本船は、常陸那珂港において着岸作業中、船長が、連続的に減速してFバースに接近し、Fバースの至近となってから主機を後進運転としたことから、十分に減速できていない状態で行きあしが止まらず、Fバースに衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が常陸那珂港において着岸作業中、船長が、連続的に減速してFバースに接近し、Fバースの至近となってから主機を後進運転としたため、十分に減速できていない状態で行きあしが止まらず、Fバースに衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船長は、港外から直接着岸する際には、航行状態から連続して減速して岸壁に接近せず、距離に余裕のあるうちに一旦十分に減速し、それから岸壁に接近することが望ましい。</li> </ul>